



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 葛山 稔

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,437	△6.0	△232	—	△290	—	△300	—
26年3月期第2四半期	7,913	△16.2	401	△51.5	403	△52.6	37	△83.1

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 △303百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 373百万円 (△54.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△1.04	—
26年3月期第2四半期	0.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	8,418	7,322	86.9	25.26
26年3月期	8,824	7,626	86.4	26.31

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 7,316百万円 26年3月期 7,620百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	25.5	380	△18.8	290	△30.1	60	—	0.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	289,747,982 株	26年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	92,205 株	26年3月期	91,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	289,655,777 株	26年3月期2Q	289,658,619 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算短信に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策の金融緩和策を背景に企業収益の改善等、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費増税前の駆け込み需要の反動減による個人消費の減速、海外景気の下振れや地政学的リスクの高まりから先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、6月初旬以降、イラク情勢緊迫化の影響により上昇傾向で推移したものの、9月に入りロシア・ウクライナの停戦合意されたことが影響し、その後は緩やかな下落基調で推移いたしました。業績においては金原料の集荷量が当初見込みを下回ったことから低調に推移いたしました。宝飾市況においては、個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続等、住宅購買意欲は回復基調にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減等の影響により、厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、海外自動車市場の堅調さを背景に受注環境は国内及び欧米を中心に回復基調にあり、中古工作機械業界においても概ね堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は7,437,522千円(前年同四半期7,913,958千円)、営業損益は232,902千円の損失(前年同四半期401,018千円の利益)、経常損益は290,618千円の損失(前年同四半期403,006千円の利益)、四半期純損益は300,067千円の損失(前年同四半期37,693千円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は5,634,906千円(前年同四半期5,219,399千円)、営業損益は40,600千円の利益(前年同四半期110,008千円の損失)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は723,642千円(前年同四半期503,175千円)、営業損益は50,781千円の損失(前年同四半期45,508千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は194,182千円(前年同四半期227,234千円)、営業損益は4,453千円の損失(前年同四半期134,372千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は871,442千円(前年同四半期986,193千円)、営業損益は29,355千円の利益(前年同四半期23,830千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は13,020千円の損失(前年同四半期939,960千円の利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より406,420千円減少し、当第2四半期末は、8,418,327千円となりました。

増加の主なもの、商品及び製品の増加(1,080,841千円から1,293,685千円へ212,844千円の増加)であります。

減少の主なもの、現金及び預金の減少(1,646,555千円から976,650千円へ669,904千円の減少)であります。

当第2四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より102,640千円減少し、当第2四半期末は、1,095,649千円となりました。

減少の主なもの、未払金の減少(68,020千円から45,127千円へ22,893千円の減少)、長期借入金の減少(668,340千円から598,500千円へ69,840千円の減少)であります。

当第2四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より303,779千円減少し、当第2四半期末は、7,322,678千円となりました。

減少の主なもの、利益剰余金の減少(△5,133,889千円から△5,443,956千円へ300,067千円の減少)であります。

## (キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より669,904千円減少し、976,650千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は600,482千円(前年同四半期3,670,653千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失291,582千円及び、たな卸資産の増加額328,309千円があったことによるものであります。

投資活動の結果得られた資金は456千円(前年同四半期189,736千円の使用)となりました。

財務活動の結果使用した資金は69,879千円(前年同四半期1,121,819千円の獲得)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出69,840千円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点では平成26年5月14日付決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,646,555	976,650
売掛金	20,066	28,650
商品及び製品	1,080,841	1,293,685
仕掛品	131,111	235,110
原材料及び貯蔵品	2,163	7,982
販売用不動産	96,512	138,268
仕掛不動産	429,044	392,936
預け金	1,860,524	1,859,809
その他	90,948	72,957
流動資産合計	5,357,767	5,006,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,386,731	1,390,575
減価償却累計額	△422,507	△461,077
建物及び構築物(純額)	964,224	929,498
機械装置及び運搬具	527,426	525,841
減価償却累計額	△423,386	△429,933
機械装置及び運搬具(純額)	104,040	95,907
土地	1,691,391	1,691,391
その他	116,387	117,318
減価償却累計額	△102,817	△104,040
その他(純額)	13,569	13,277
有形固定資産合計	2,773,224	2,730,075
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	6,742	8,615
無形固定資産合計	371,742	373,615
投資その他の資産		
投資有価証券	154,139	148,769
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	146,965	138,908
その他	11,703	11,703
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	322,012	308,586
固定資産合計	3,466,980	3,412,277
資産合計	8,824,748	8,418,327

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,974	13,160
1年内返済予定の長期借入金	139,680	139,680
未払金	68,020	45,127
未払法人税等	29,401	25,929
その他	26,577	30,241
流動負債合計	283,654	254,139
固定負債		
長期借入金	668,340	598,500
長期未払金	1,800	—
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	21,378	22,086
繰延税金負債	34,726	30,478
資産除去債務	181,357	183,412
固定負債合計	914,635	841,510
負債合計	1,198,290	1,095,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△5,133,889	△5,433,956
自己株式	△31,039	△31,078
株主資本合計	7,617,136	7,317,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,148	△478
その他の包括利益累計額合計	3,148	△478
少数株主持分	6,172	6,126
純資産合計	7,626,457	7,322,678
負債純資産合計	8,824,748	8,418,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,913,958	7,437,522
売上原価	6,756,605	6,937,096
売上総利益	1,157,353	500,425
販売費及び一般管理費	756,334	733,327
営業利益又は営業損失(△)	401,018	△232,902
営業外収益		
受取利息	106	103
国庫補助金収入	45,186	20,138
為替差益	5,603	—
その他	4,748	3,701
営業外収益合計	55,644	23,942
営業外費用		
支払利息	12,662	6,294
休山管理費	40,876	70,859
その他	118	4,504
営業外費用合計	53,656	81,659
経常利益又は経常損失(△)	403,006	△290,618
特別利益		
負ののれん発生益	4,488	—
特別利益合計	4,488	—
特別損失		
固定資産除却損	—	963
特別損失合計	—	963
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	407,495	△291,582
法人税、住民税及び事業税	14,115	11,036
法人税等調整額	19,422	△2,504
法人税等合計	33,537	8,531
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	373,957	△300,113
少数株主利益又は少数株主損失(△)	336,264	△46
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,693	△300,067

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	373,957	△300,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△3,626
その他の包括利益合計	—	△3,626
四半期包括利益	373,957	△303,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,693	△303,693
少数株主に係る四半期包括利益	336,264	△46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	407,495	△291,582
減価償却費	64,354	47,418
受取利息及び受取配当金	△106	△253
支払利息	12,662	6,294
補助金収入	△45,186	△20,138
有形固定資産除却損	—	963
負ののれん発生益	△4,488	—
少数株主損益(△は益)	△349,352	—
売上債権の増減額(△は増加)	△5,010	△8,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	66,035	△328,309
貸付商品の増減額(△は増加)	679,348	—
仮払金の増減額(△は増加)	△4,001	△1,776
仕入債務の増減額(△は減少)	23,503	△6,814
未払金の増減額(△は減少)	△13,185	△27,384
デリバティブ債権の増減額(△は増加)	△262,120	—
デリバティブ債務の増減額(△は減少)	472,925	—
預け金の増減額(△は増加)	△4,774,357	715
その他	57,268	29,356
小計	△3,674,216	△600,094
利息及び配当金の受取額	106	253
利息の支払額	△9,115	△6,294
補助金の受取額	45,186	20,138
法人税等の支払額	△32,614	△14,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,670,653	△600,482
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△184,811	△4,775
無形固定資産の取得による支出	△2,229	△2,330
子会社出資金の取得による支出	△3,800	—
敷金及び保証金の差入による支出	△60	△63
敷金及び保証金の減少による収入	1,344	7,626
その他	△180	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,736	456
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△78,137	△69,840
自己株式の取得による支出	△43	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,121,819	△69,879
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,738,571	△669,904
現金及び現金同等物の期首残高	3,456,377	1,646,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	717,806	976,650

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	5,219,399	503,175	227,234	986,193	955,979	3,099	18,878	7,913,958
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	8,033	—	—	—	—	8,033
計	5,219,399	503,175	235,267	986,193	955,979	3,099	18,878	7,921,992
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△110,008	△45,508	△134,372	△23,830	939,960	△69,836	3,999	560,403

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	7,913,958
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△8,033	—
計	△8,033	7,913,958
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△159,384	401,018

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△159,384千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△159,384千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	5,634,906	723,642	194,182	871,442	—	5,180	8,168	7,437,522
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	8,015	—	—	—	—	8,015
計	5,634,906	723,642	202,197	871,442	—	5,180	8,168	7,445,537
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	40,600	△50,781	△4,453	29,355	△13,020	△40,116	△10,183	△48,598

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	7,437,522
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△8,015	—
計	△8,015	7,437,522
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△184,303	△232,902

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△184,303千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△184,303千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更等)

前連結会計年度から、「調整額」に含まれていた「研究開発」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、平成26年9月30日付で研究開発事業を廃止いたしました。